

平成22年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

| 小論文 【夜間主コース 推薦入試・社会人入試】 | | |
|--|--------|---|
| 出題意図 | 評価ポイント | |
| <p>筆者は、近時しばしば指摘される学力の低下の原因が、若者が学ばなくなったことにあるとし、なぜ日本人が学ばなくなったかについて、いくつかの理由を指摘する。</p> <p>また、筆者は、若者が学ばなくなったことによって、単に学力が低下しただけでなく、若者の「生きる力」をも失わせていると指摘する。</p> <p>そこで、これから大学においてさまざまなことを学ぶにあたって、「学ぶ」ことの意味を熟慮してもらいたい。</p> | 問1 | 以下の点が理解されているか。若者が薄い人間関係を志向することに問題があるということ。また、若者が薄い人間関係を志向することによる生ずる問題は、二つあり、その人自身の問題と社会全体の問題があるということ。さらに、それぞれの問題が適切に理解されているか。 |
| | 問2 | 自分の主張をはっきりと示しているか。その主張の根拠を示し、論理的に文章を組み立てているか。また、単に自分の主張を一方向的に述べるのではなく、自分の主張と対立する主張に対してきちんと応接しているか。 |

小論文 【夜間主コース 推薦入試（追試験）】

| 出題意図 | 評価ポイント | |
|---|--------|--|
| <p>日本家屋における住宅と庭の関係から、日本人の地域の社会的な人間関係の形成の特徴を読み取れるかどうかを課題とする。特に住宅という「形」の中に表れた日本人特有のものの考え方を理解できるかどうか、さらには北海道という特殊な気候の中でその日本人の社会・文化の特徴を反映させようとする筆者の意図が読み取れるかどうかを見ている。</p> | 問1 | <p>日本の庭が持つ、閉じられながら開くという機能と日本人の地域社会に対する考え方が適切に捉えられているかどうかを問う問題である。</p> |
| | 問2 | <p>課題文でも中心的に述べられている住宅という形に表れる日本人の考え方、あるいは文化というテーマを客観的かつ説得的に論じられる能力があるか否かを問う問題である。この種の問に対して陥りがちな個人的経験に基づいた主観的意見ではなく、具体的な事例を用いながらも客観的・論理的に議論を展開できることが望ましい。</p> |